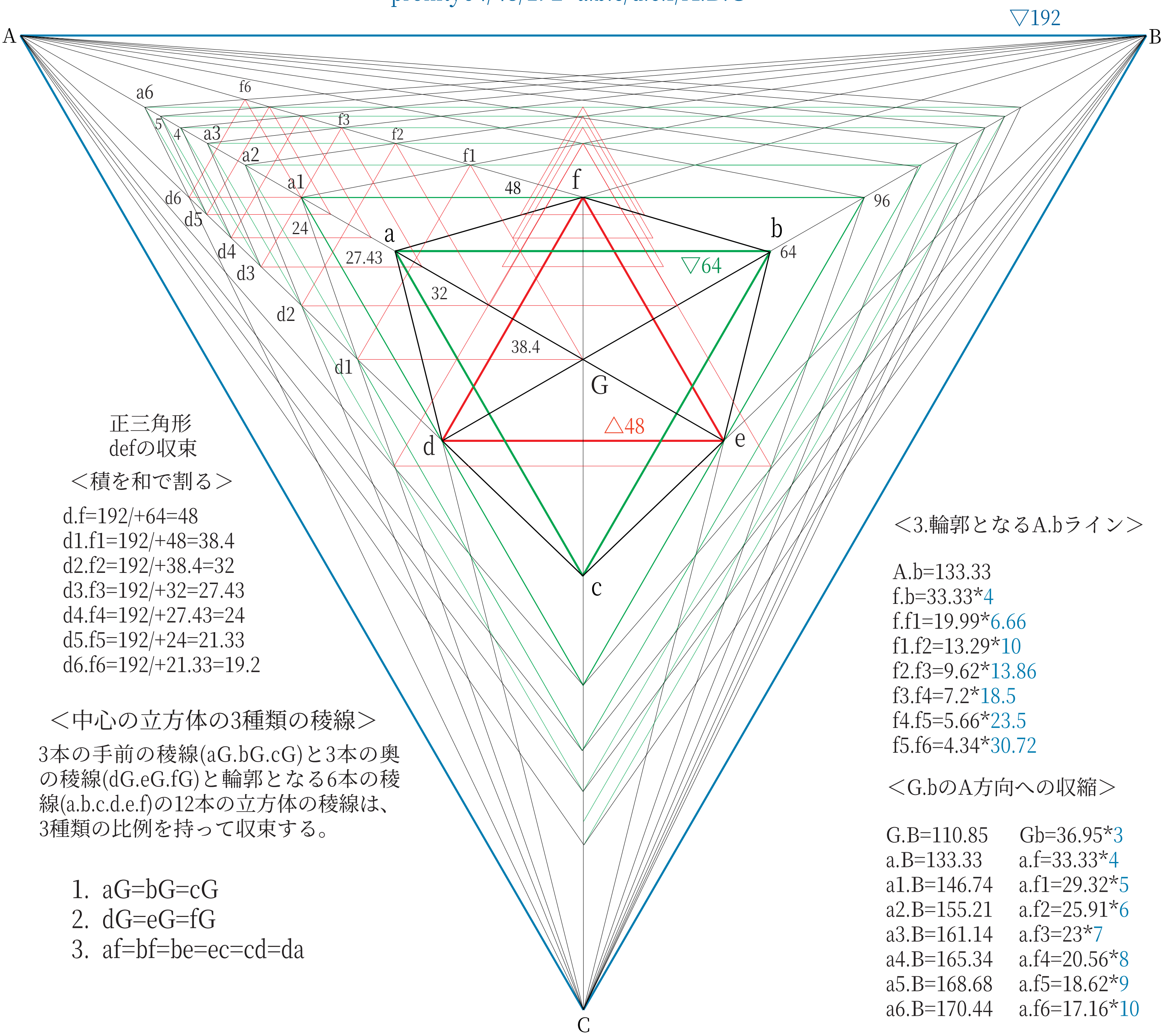
２つの正三角形の循環と放射線の比例

正三角形a.b.cと正三角形d.e.fの頂点を結ぶ線分は３方向への放射線となって、焦点となる正三角形の頂点A.B.Cに収束し、2つの正三角形(a.b.c)(d.e.f)に外接する立方体(a.f.b.e.c.d.G)をつくる。この中心の立方体に連続する立方体は、３方向に収束する放射線により無限に比例分割される。この時、立方体を形成する２つの正三角形は，交互にその数値を循環しながら収束し、その数値は、プロニティーの数から求められる。又、中央から３方向へ収縮する立方体の12本の稜線は３種類(6本の輪郭となる稜線)、(正三角形a.b.cからの3本の手前に向かう稜線)、(正三角形d.e.fからの3本の奥に向かう稜線)の比例を持って収束する。

pronity64/48/192=a.b.c/d.e.f/A.B.C



正三角形
defの収束

＜積を和で割る＞

d.f=192/+64=48
d1.f1=192/+48=38.4
d2.f2=192/+38.4=32
d3.f3=192/+32=27.43
d4.f4=192/+27.43=24
d5.f5=192/+24=21.33
d6.f6=192/+21.33=19.2

＜中心の立方体の3種類の稜線＞

3本の手前の稜線(aG.bG.cG)と3本の奥の稜線(dG.eG.fG)と輪郭となる6本の稜線(a.b.c.d.e.f)の12本の立方体の稜線は、3種類の比例を持って収束する。

1. aG=bG=cG
2. dG=eG=fG
3. af=bf=be=ec=cd=da

＜3.輪郭となるA.bライン＞

A.b=133.33
f.b=33.33*4
f.f1=19.99*6.66
f1.f2=13.29*10
f2.f3=9.62*13.86
f3.f4=7.2*18.5
f4.f5=5.66*23.5
f5.f6=4.34*30.72

＜G.bのA方向への収縮＞

G.B=110.85	Gb=36.95*3
a.B=133.33	a.f=33.33*4
a1.B=146.74	a.f1=29.32*5
a2.B=155.21	a.f2=25.91*6
a3.B=161.14	a.f3=23*7
a4.B=165.34	a.f4=20.56*8
a5.B=168.68	a.f5=18.62*9
a6.B=170.44	a.f6=17.16*10

pronity64/48/192=A/B/C

＜1.センターラインの比例数＞

正三角形ABCの頂点と中心Gを結ぶ線分を1とすると分割されたそれぞれの線分は、中心から1/3、1/6、1/10、1/15、1/21、1/28、1/36・・・1/∞と続く。

中心からn番目の長さ=(C/R3)/{n(C/A)+(1+...(n-2)}

center line(A.G)=192/R3=110.85

basic propotion=(192/R3)/(64/R3)=3=C/A	A.G=110.85*1
a.G=(C/R3)/(3*1)=64/R3=36.95	a.G=36.95*3
a.a1=(C/R3)/(3*2)=32/R3=18.47	a.a1=18.47*6
a1.a2=(C/R3)/(3*3+1)=11.085	a1.a2=11.085*10
a2.a3=(C/R3)/(3*4+1+2)=7.39	a2.a3=7.39*15
a3.a4=(C/R3)/(3*5+1+2+3)=5.27	a3.a4=5.27*21
a4.a5=(C/R3)/(3*6+1+2+3+4)=3.95	a4.a5=3.95*28
a5.a6=(C/R3)/(3*7+1+2+3+4+5)=3.08	a5.a6=3.08*36